

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験対策、本格開始！

新年度となり、4月から教員採用試験対策が本格的に始まりました。教員採用は、各自治体で独自に実施しているため試験内容等が多少異なることがあります。一次試験とその合格者を対象とした二次試験の2段階方式を採用し、一次試験では教職教養試験と専門教科試験を課す場合がほとんどです。今年度は、4年生と既卒者合わせて29名が千葉県、東京都、茨城県の教員採用試験を受験する予定です。また、3年生15名が前倒し受験を予定しています。一次試験対策として、以下の2つの対策講座を始めました。

＜教職教養試験対策講座＞

教育原理、教育法規、教育時事、教育心理、教育史、学習指導要領、各自治体の教育施策の分野から出題される問題への対策をビデオ講義を通して指導しています。URLを受験生全員に配布することで、個人で好きな時に好きな場所で学ぶことができるようになっています。

＜専門教科（英語）試験対策講座＞

英語の専門教科試験では、多くの自治体で読解力を問う英語長文問題や文法や語彙知識を問う英文整序問題、適切な語句の選択を問う英文空所問題等が出題されます。これらの問題に対応できるように英語対策講座を毎週3回（火曜日・木曜日・金曜日）、一次試験日（7月6日）直前まで実施します。



＜火曜日担当：米村教授＞



＜木曜日担当：西貝教授＞



＜金曜日担当：金子教授＞

ボランティア活動説明会

4月23日（水）12時20分から、2201講義室において、教職課程の履修生を対象とした「2025年度教育ボランティア説明会」を実施し、16名が出席しました。

当日は、教育ボランティア活動の意義、METTSで取り扱う教育ボランティア活動の紹介、ボランティア活動保険、明海大学社会貢献活動（ボランティア活動A）単位取得制度等について説明しました。

教育ボランティア活動は、学生が学校や地域の教育現場に主体的に関わり、実践を通して教育への理解を深めることができ、将来教職に就くことを目指す学生にとって大変有意義な学びの機会となっています。

昨年度は、例えば浦安市青少年自立支援「未来塾」において学習支援や生徒とのコミュニケーション支援に取り組んだり、「足立区あけみ英語村」での英語活動支援に携わったりと、様々な現場で学生が積極的にボランティアとして活動しました。

最後に、活動中のけがや他者への賠償責任などを対象とする「ボランティア保険」についても説明し、安心して活動に取り組める体制が整っていることを伝えました。



教育実習直前板書特別講座

5月8日(木)と12日(月)の1・2限に本学客員教授の釧持勉先生による「板書講座」を実施しました。釧持先生は福島県の高校教諭、東京都の小学校教諭、区や都の教育委員会で13年間勤務した後、東京都国立市・小金井市の両市で校長職として9年勤務されました。その後、東京学芸大学特任教授、帝京科学大学教授などを歴任され、現在は教科担任制や人権教育の推進に関する講師、教員採用試験アドバイザーとして全国を駆け回っていらっしゃいます。

本講座では、教育実習を目前にしている学生が、板書を行う際の正しい構え方やチョークの持ち方といった基本を学んだ後、自分の名前や「春夏秋冬」の文字の添削を受け、やや長い文章への応用に挑戦しました。講座を終えた学生からは「自分の名前を黒板に上手に書けるようになりました」「板書に不安がありましたが、コツが分かった気がします」と感想を述べていました。

学生たちがこの講座で身につけた「自信」を、これから始まる教育実習で生かしてくれることを期待しています。



新年度教職課程ガイダンス

教職課程の履修を希望する新入生から新4年生までを対象とする学事課主催の教職課程ガイダンスがそれぞれ開催され、履修の手続き等について説明がなされました。

まず、3月25日(火)に新3年生を対象として、来年度から再開される介護等体験に関して、実施することの意義や参加する上での心構えや注意事項について西貝教授から説明がありました。

26日(水)に新4年生を対象として、金子教授から教育実習の法的な根拠、挨拶の徹底や生徒との接し方等、実習に臨むに当たっての具体的な留意事項に関する話がありました。

新2年生には、27日(木)に本格的に教職課程を履修することで増える授業数、教員免許状を取得することの意義、教員という職業の魅力、教員採用試験の現状等について、浅田教授から説明がありました。

31日(月)、新入生を対象とするガイダンスが開催され、卒業までの教職課程のカリキュラム全般、教員という職業の全体像、本学の教員採用試験の合格状況の最新情報等、教職課程の履修、教員免許の取得、教員採用試験の受験、そして実際に採用されるまでのプロセスを、米村教授が総合的に説明をしました。どの学年のガイダンスにおいても参加した学生は真剣な面持ちで説明に聞き入っていました。

2025 年度教職課程履修者数

	日	英	中
1 年生	30	27	
2 年生	22	14	0
3 年生	11	12	0
4 年生	21	16	0
学科計	74	69	0
合計	143 人		

*4月22日時点



遠藤哲也教授 着任のメッセージ

4月より着任いたしました遠藤哲也です。これまで長きにわたり公立中・高等学校で英語教育に携わり、後年は校長として学校運営に従事してきました。今後は現場で培った経験を、未来の教育者を志す皆さんに伝えていきたいと思います。

本学では、「教職基礎セミナーⅠ・Ⅱ」「小学校英語基礎概論Ⅰ・Ⅱ」「教育原理」「総合的な学習の時間」の指導法「教育課程論」を担当します。大学での学びは、知識だけでなく、自らの教育観を築く大切な時間です。授業では、実践に即した学びを重視し、学生が自分なりの教師像を描けるよう、全力で支援していきます。

